

◆入社のきっかけと仕事

自分は秋田の出身で、大学進学のため茨城へ引越して来ました。大学ではプログラミングを専攻していましたが、「形として残るもの」をつくるのは面白いなという「ものづくり」に興味を持ち、就活サイトで見つけたのが現職です。

現在は、原子力発電所関係の監視装置などの機械・部品の設計をしています。機械の部品の組み合わせを2次元(図面上)→3次元(実物)に轉換して考えるのが大変ですが、小さな部品1つでも、自分の図面どおりにできてくると嬉しいものです。作業中、疑問に思ったことはすぐ質問して「わからないところをわからないままにしない！」ように気を付けています。職場の先輩方にはよく面倒をみていただいていて、感謝しています。

◆高萩の魅力とくらし

高萩へは就職を機に住み始め、海沿いのアパートで一人暮らしをしています。高萩は気候が良く、過ごしやすいです。冬に自転車に乗れるので素晴らしい！秋田では雪がすごいで(笑)

休日には、海辺を散歩したり、マンガを読んだり、ゆっくり安らぐ時間を過ごしています。趣味は野球。小さい頃から野球少年で、体を動かすのは好きです。学生時代は空いた時間によく友達とキャッチボールをしていました。高萩には、まだまだあまり知り合いがいないので、友達も彼女も募集中です！

大学時代の友達と遊ぶときは、友達に住んでいる横浜・守谷などに車で出かけます。逆に高萩まで遊びに来てもらって、駅前のお店で飲んだりもしています。飲食店の新店開拓していけたら良いなあ。

◆高萩に期待すること

もう少し遅くまで開いているスーパーがあれば…とたまに残業で遅くなったときに感じます。それと、まちに活気が出るようなイベントでもっと若い人向けの行事があると嬉しいです。ライブイベントや、広い海辺を利用してバーベキュー大会とか。ビーチバレー大会はまだ観戦したことがないので、次回は行ってみたいかな。



▲装置の設計作業をする伊藤さん

わがまち 高萩を支える働き人



伊藤 確さん(24歳・入社3年目)
助川電気工業株式会社
所属：技術本部 装置第2設計部 第2G

■会社概要 Nimblox

1949年創業。「世にない技術への挑戦」をスローガンに、「技術力で社会に貢献する企業」を目指す研究開発型企業。シー型温度センサー、ヒータ、エネルギー関連機器、半導体およびFPD製造装置向け製品に加え、現在は高速増殖炉での技術に応用した熔融金属関連システムや核融合関連部門に注力しています。



助川電気工業株式会社
住所：高萩市上手綱3333-23
TEL：0293-23-6411

5/27

高萩市民球場が電光掲示板を備えてリニューアルオープン

オープニングセレモニーに引き続き記念試合が行われ、市内の野球スポーツ少年団混成チームの試合でこけら落とし。午後からは明秀学園日立高等学校×作新学院高等学校(栃木)、作新学院高等学校×佐久長聖高等学校(長野)の試合が行われました。

高校野球強豪校の試合とあつて、県内外からたくさんのお客さんが来場。試合では作新学院の宇井選手と明秀日立の菊池選手のホームランも飛び出し、オープニングに花を添えてくれました。

同時に開催された「高萩青空市」も大盛況で、多くのお客さんが「たかほぎのおいしいもの」に舌鼓をうつしていました。

また、6月1日(木)から6日(火)には第70回河北高等学校野球大会も行われ、21校が出場。こちらも多くのご来場がありました。(河北高等学校野球大会の結果はP15) 高萩市民球場は平成31年に開催される茨城国体において軟式野球の会場となります。

